

平成 2 3 年観光動態要覧

別府市 ONSEN ツーリズム部
観光まちづくり課

平成23年別府市観光動態発表にあたって

平成23年別府市観光動態は、平成23年1月から平成23年12月までに別府市を訪れた観光客の動きについて調査し、観光客の推移、状況等についてまとめたものとなっております。

平成22年度より、観光庁により「観光入込客統計に関する共通基準」が策定され、全国共通基準による統計調査が都道府県レベルで実施されるなど、統計の作成方法について全国的に抜本的な見直しが図られてきました。本市でも関係機関と協議していく中で、より実態に即した数値を把握し、一層活用できる観光動態調査をするよう、平成22年度より当市の統計の作成方法につきましても、全国共通の基準に準じた調査方法で推計把握をすることとなりました。

また、この基準によると、調査の開始時期の都合上、平成22年度のみ年度調査となり、平成23年から暦年調査となることが全国的に統一されております。

これにより、観光客入込総数や宿泊数など一部過去との対比が出来ない状況になり、皆様にはご迷惑をお掛けしますが何卒ご理解いただきたいと存じます。

この資料により、本市観光の現状をご理解いただき、今後の観光事業を推進するうえで参考として活用していただければ幸いです。

なお、資料提供等ご協力頂きました関係各位のご厚意に対し、深く感謝の意を表わしますとともに、今後ともご協力いただきますようよろしくお願い申し上げます。

別府市 ONSEN ツーリズム部 観光まちづくり課

調査結果利用上の注意

当資料内にあります前年比較(下記項目箇所)については比較しやすいように平成22年(1月～12月)を参考数値(当市で独自に調査した数値)として比較対象としています。

したがって平成22年度観光動態要覧(平成22年4月～平成23年3月)とは正式には比較の対象とはなりませんのでご注意願います。

前年比較箇所

3ページ・・・ 1 調査結果の概要

観光客総数 日帰観光客数 宿泊観光客数

②観光レジャー施設の入込客数

③外国人観光客数

6ページ・・・ 4 外国人観光客数

表4-1 国籍別外国人観光客数

8ページ・・・ 5 宿泊客数動向

表5-1 過去5年間における宿泊客数

11ページ・・・ 2 主要観光施設

表2-1 月別観光客推移

目 次

観光動態調査要項・資料提供機関 別府市の観光客数の算出方法	1
----------------------------------	---

I 平成23年観光動態調査結果

1 調査結果概要と観光客総数	3
2 四半期別観光客数	4
3 観光消費額	5
4 外国人観光客数	6～7
5 宿泊客数動向	8

II 施設別集計資料

1 市営温泉	10
2 主要観光施設	11

III 参考資料

・ 宿泊施設調べ・市有温泉調べ・別府温泉の状況	13
・ 平成23年別府市のイベント開催状況	14～15
・ 市民憲章	16

観光動態調査要項資料提供機関

- 1 官公庁
国土交通省観光庁
大分県観光・地域振興課
大分県東部保健所
別府市ONSENツーリズム部温泉課
別府市ONSENツーリズム部競輪事業課
別府市総務部課税課

- 2 団体・施設
(社)別府市観光協会・別府市旅館ホテル組合連合会
別府市外国人旅行者受入協議会・別府外国人観光客案内所
スギノイパレス・アクアビート・別府地獄組合・高崎山・ラクテンチ
うみたまご・近鉄別府ロープウェイ・アフリカンサファリ・ハーモニーランド
別府リンゴ園・城島高原パーク・ビーコンプラザ・グローバルタワー
大分香りの博物館・ひょうたん温泉・別府湾サービスエリア・潮彩屋
みょうばん湯の里・べっぷアリーナ・志高湖野営場・神楽女湖・別府市美術館
別府市竹細工伝統産業会館・市営温泉・別府競輪場・地獄蒸し工房鉄輪
城島高原ゴルフクラブ・別府扇山ゴルフ倶楽部・別府の森ゴルフ倶楽部
(順不同)

別府市の観光客数の算出方法

1 総観光客数の算出方法

観光庁により策定された「観光入込客統計に関する共通基準」に該当する観光地点への観光入込客数の延人数(観光地点の観光客数の調査集計)を用いて、総観光客数の推計を算出

2 宿泊客数の算出方法

別府市入湯税の申告データより算出 (※入湯税の申告義務の無い施設は対象外としています。)

別府市税条例 第 141 条 入湯税は、鉱泉浴場における入湯に対し、入湯客に課する。

2 前項の鉱泉浴場とは、温泉法(昭和 23 年法律第 125 号)第 2 条に規定する温泉及び同法の温泉に類するもので鉱泉と認められるものを利用する旅館、料理屋、入湯貸間、寮、保養所等及びこれらに類似した行為を行う場所の浴場をいう。

3 日帰り客数の算出方法

総観光客数から宿泊客数を差引くことにより、日帰り客数を算出。

(総観光客数) - (宿泊客数) = (日帰り客数)

4 消費額の算出方法

「観光入込客統計に関する共通基準」の大分県観光消費額単価(速報値)を人数に乗じて算出

I 平成 23 年観光動態調査結果

平成 23 年（平成 23 年 1 月～平成 23 年 12 月） 別府市観光動態調査結果

1. 調査結果の概要

平成 23 年の別府市における総観光客数は、**7,881,241 人**となり、その内訳は下記のとおりである。

観光客総数	7,881,241 人	前年比	97.2%	221,809 人減少
日帰観光客数	5,637,597 人	前年比	96.6%	197,615 人減少
宿泊観光客数	2,243,644 人	前年比	98.9%	24,194 人減少

① 発地別宿泊客数 県外客比率 80.3%を占めている (単位：%)

	北海道・東北	関東	中部	近畿	中四国	福岡	大分	その他九州	韓国	その他外国	合計
H23年	1.2	11.5	3.8	8.0	11.3	23.4	19.7	15.3	4.7	1.0	100.0

※小数点以下第 2 位四捨五入

② 観光レジャー施設の入込客数は 4,287,723 人であり、施設全体で前年比 96.2%。

③ 外国人観光客 157,374 人 前年比 56.4% 121,402 人の減少。

外国人観光客数上位は、

- 1 韓国 110,371 人（前年比 50.09%）
- 2 中国（香港含む） 17,809 人（前年比 210.8%）
- 3 台湾 11,481 人（前年比 84.1%）

外国人観光客については、東日本大震災発生に伴う原発問題の影響からか前年より **121,402 人**減少し、過去 5 年間で最低の数値となった。国別の入込み客数では今年も韓国が 1 位であり、中国がクルーズ船寄港の増加により、台湾を抜いて第 2 位となった。依然として東アジアの占める割合が高く、全体の 88.7%となった。

2. 四半期別観光客数

表2-1 四半期別観光客数推移(1)

(単位:人)

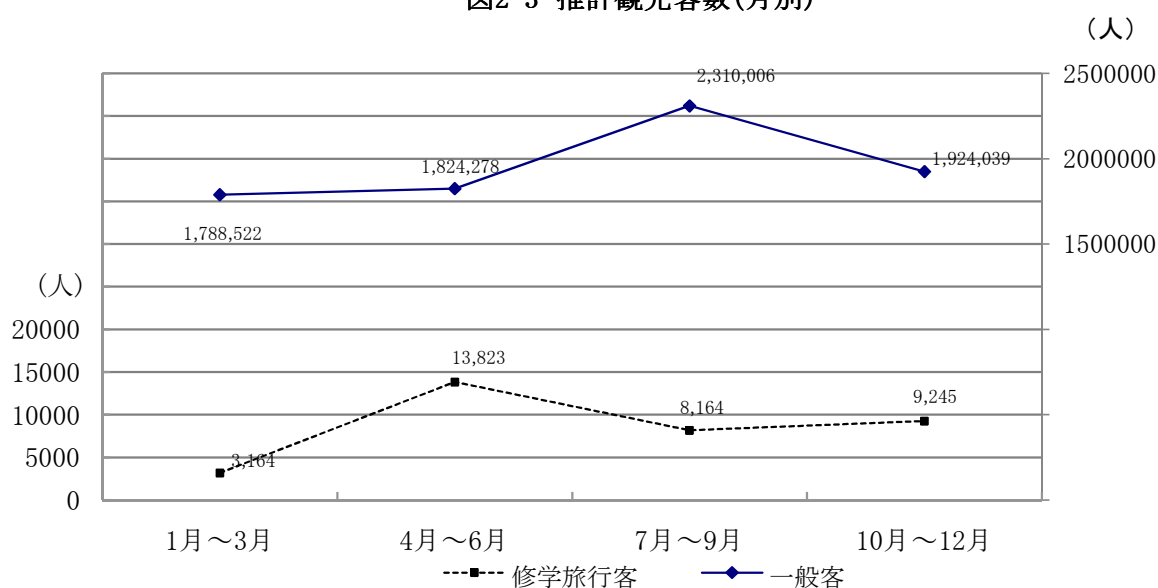
月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	計
一般客	1,788,522	1,824,278	2,310,006	1,924,039	7,846,845
修学旅行客	3,164	13,823	8,164	9,245	34,396
合計	1,791,686	1,838,101	2,318,170	1,933,284	7,881,241

表2-2 四半期別観光客数推移(2)

(単位:人)

月	1月～3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	計	
日帰客	一般客	1,215,808	1,353,261	1,698,785	1,341,221	5,609,075
	修学旅行	1,274	12,763	7,161	7,324	28,522
	合計	1,217,082	1,366,024	1,705,946	1,348,545	5,637,597
宿泊客	一般客	572,714	471,017	611,221	582,818	2,237,770
	修学旅行	1,890	1,060	1,003	1,921	5,874
	合計	574,604	472,077	612,224	584,739	2,243,644

図2-3 推計観光客数(月別)



3. 観光消費額

※1人当たりの消費額は国内観光客および外国人観光客ともに観光庁作成による「共通基準による観光客統計」の大分県の数値を活用しております。平成23年は現在集計中であり確定しておりませんので速報値の数値を活用しております。

表3-1 国内観光客消費額

	客数(人)	1人当たりの消費額(円)	消費額(千円)
宿泊客	2,114,975	35,341	74,745,331
日帰り客	5,608,892	6,675	37,439,354
合計	7,723,867		112,184,685

表3-2 外国人観光客消費

	客数(人)	1人当たりの消費額(円)	消費額(千円)
宿泊客	128,669	22,996	2,958,872
日帰り客	28,705	8,238	236,472
合計	157,374		3,195,344

4. 外国人観光客数

外国人観光客については、157,374人で前年対比56.5%と減少。国別入込み客数では、今年も韓国が第1位であった。アジア地域で全体の9割以上を占めている。

表4-1 国籍別外国人観光客数

(単位:人, %)

地 域	構成比	国 名	平成23年 観光客数			平成22年 観光客数			前年対比
			日帰客数	宿泊客数	日帰客数	宿泊客数			
北 ア メ リ カ	1.69	ア メ リ カ	2,215	1,183	1,032	3,905	1,473	2,432	56.7
		カ ナ ダ	451	395	56	802	542	260	56.2
		小 計	2,666	1,578	1,088	4,707	2,015	2,692	56.6
中 南 ア メ リ カ	0.28	ブ ラ ジ ル	236	58	178	1,489	46	1,443	15.8
		メ キ シ コ	54	30	24	46	38	8	117.4
		そ の 他	158	156	2	87	79	8	181.6
		小 計	448	244	204	1,622	163	1,459	27.6
ヨ ー ロ ッ パ	3.41	ド イ ツ	627	462	165	3,698	1,546	2,152	17.0
		オ ラ ン ダ	466	321	145	1,487	787	700	31.3
		イ ギ リ ス	724	574	150	1,148	665	483	63.1
		フ ラ ン ス	1,023	808	215	2,806	1,860	946	36.5
		ロ シ ア	95	52	43	303	101	202	31.4
		ス イ ス	424	307	117	1,414	791	623	30.0
		ス ウ ェー デ ン	160	145	15	334	197	137	47.9
		イ タ リ ア	173	136	37	1,249	789	460	13.9
		ス ペ イ ン	276	235	41	1,469	1,115	354	18.8
		そ の 他	1,402	982	420	2,420	1,562	858	57.9
小 計	5,370	4,022	1,348	16,328	9,413	6,915	32.9		
ア ジ ア	93.70	韓 国	110,371	10,255	100,116	220,344	8,375	211,969	50.1
		台 湾	11,481	739	10,742	13,645	440	13,205	84.1
		中 国 ※	17,809	8,439	9,370	8,447	1,635	6,812	210.8
		タ イ	2,544	906	1,638	5,759	1,025	4,734	44.2
		マレーシア	167	83	84	968	129	839	17.3
		シンガポール	2,721	881	1,840	3,435	805	2,630	79.2
		インドネシア	372	150	222	565	147	418	65.8
		フィリピン	137	97	40	173	31	142	79.2
		イ ン ド	76	76	0	83	70	13	91.6
		そ の 他	1,783	333	1,450	640	256	384	278.6
小 計	147,461	21,959	125,502	254,059	12,913	241,146	58.0		
オセアニア	0.85	オーストラリア	895	712	183	1,683	1,000	683	53.2
		そ の 他	442	104	338	179	139	40	246.9
		小 計	1,337	816	521	1,862	1,139	723	71.8
アフリカ	0.06	小 計	92	86	6	198	192	6	46.5
合 計			157,374	28,705	128,669	278,776	25,835	252,941	56.5

※中国の観光客には、香港を含んでいます。

(資料H23.1～H23.12:別府市外国人旅行者受入協議会)
(資料H23.1～H23.12:別府外国人観光客案内所)

図4-2 外国人発地別割合

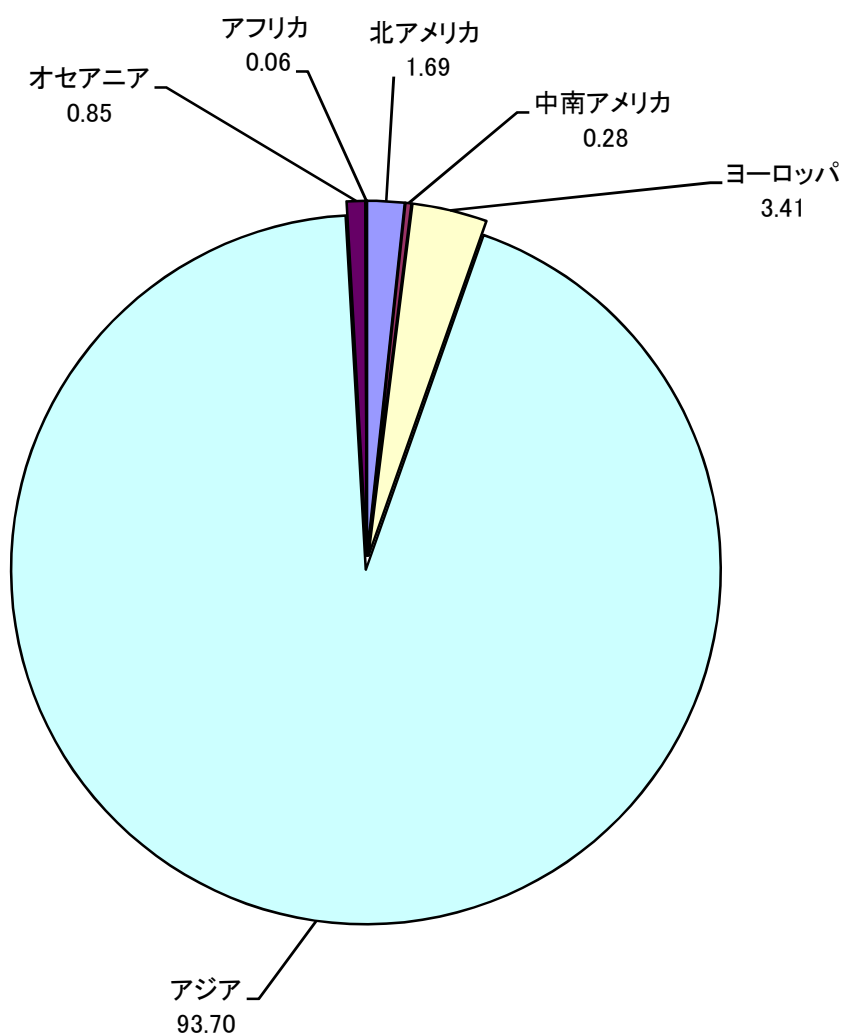


表4-3 外国人観光客数ベスト10

(単位:人, %)

順位	国名	観光客数	構成比
1	韓国	110,371	70.13
2	中国	17,809	11.32
3	台湾	11,481	7.30
4	シンガポール	2,721	1.73
5	タイ	2,544	1.62
6	アメリカ	2,215	1.41
7	フランス	1,023	0.65
8	オーストラリア	895	0.57
9	イギリス	724	0.46
10	ドイツ	627	0.40

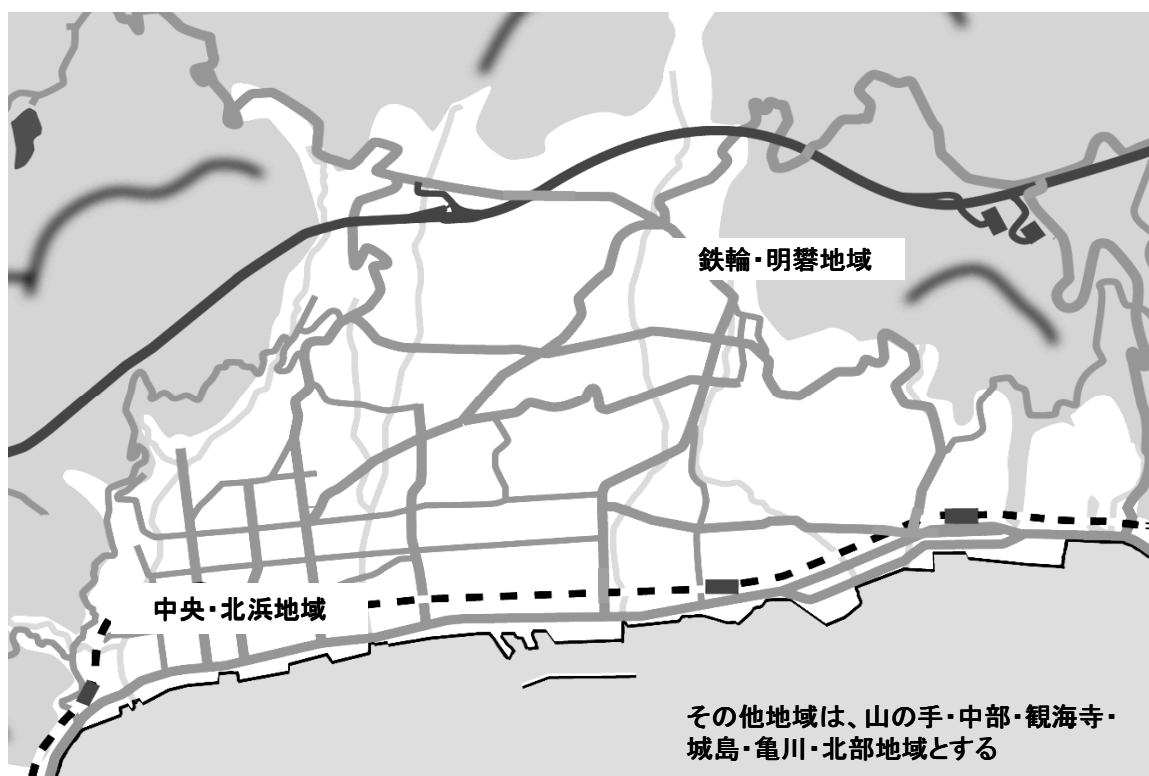
5. 宿泊客数動向

表 5-1 過去5年間における宿泊客数

年	宿泊客数 (人)
平成18年	2,204,767
平成19年	2,278,035
平成20年	2,205,059
平成21年	2,043,246
平成22年	2,267,838
平成23年	2,243,644

表 5-2 地域別推計宿泊客数

地域内訳	北浜・中央地域	鉄輪・明礬地域	その他地域	合計
宿泊客数(人)	982,980	335,725	924,939	2,243,644
構成比(%)	43.8%	15.0%	41.2%	100.0%



II 施設別集計資料

1. 市営温泉

図1-1 市営温泉施設年度別有料入浴者数

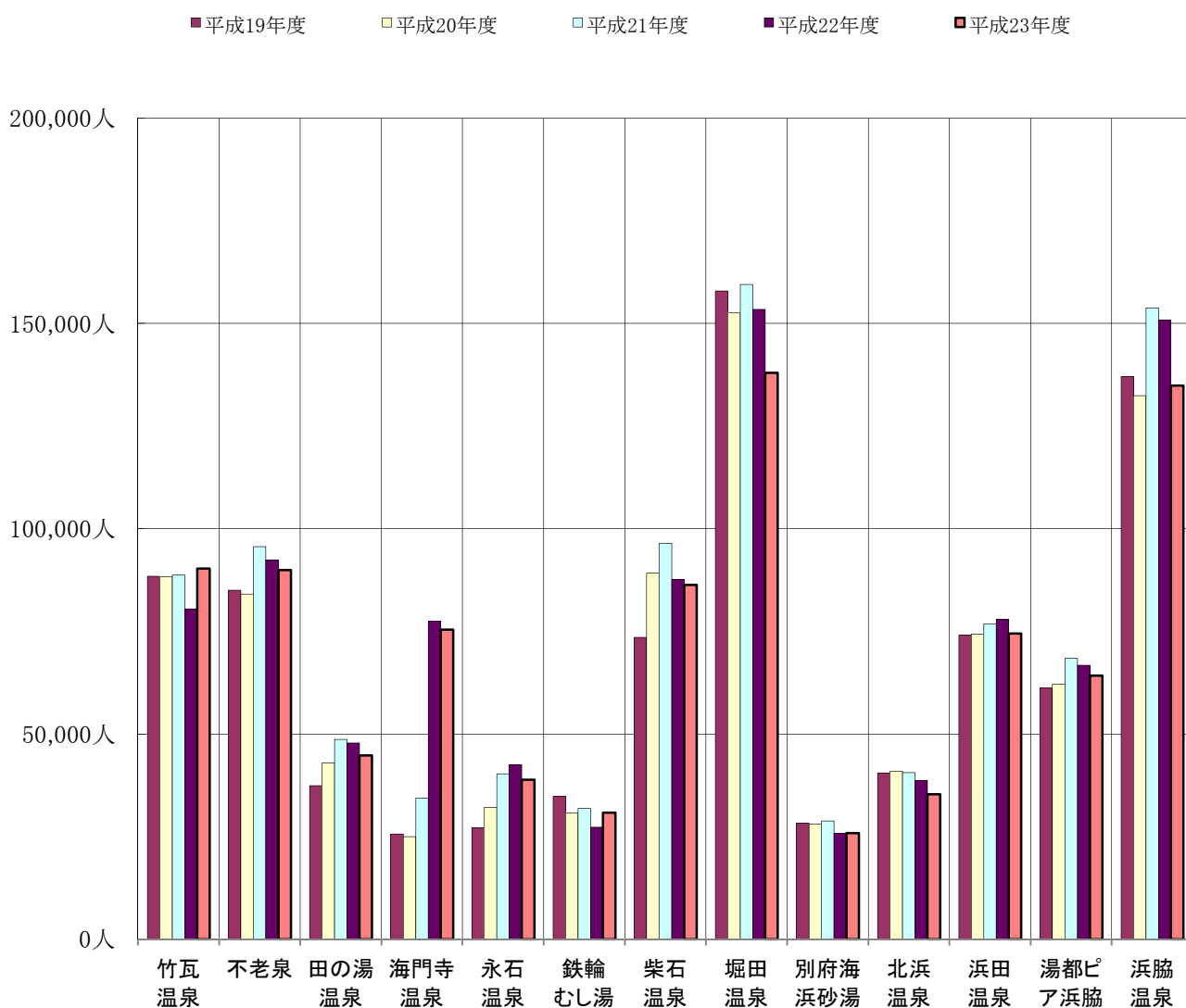


表1-2

(単位:人)

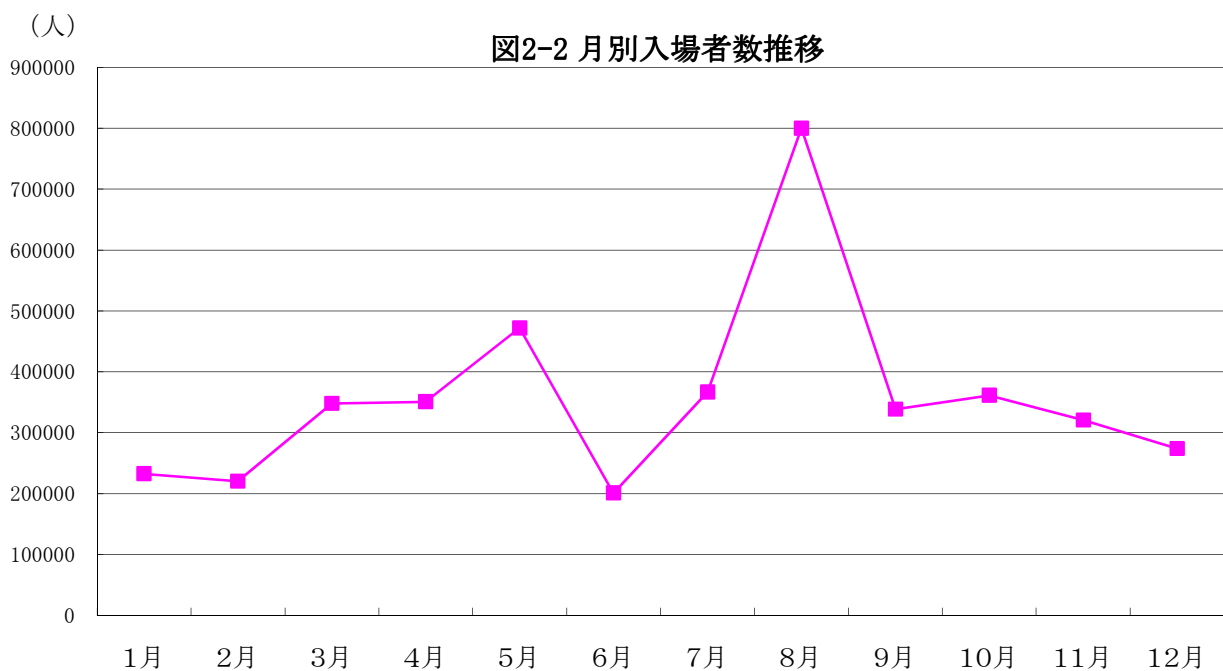
	竹瓦温泉	不老泉	田の湯温泉	海門寺温泉	永石温泉	鉄輪むし湯	柴石温泉	堀田温泉	別府海浜砂湯	北浜温泉	浜田温泉	湯都ピア浜脇	浜脇温泉	合計
平成19年度	88,407	84,993	37,434	25,677	27,129	34,831	73,548	157,881	28,208	40,496	74,111	61,284	137,035	871,034
平成20年度	88,282	84,105	42,976	24,993	32,169	30,772	89,183	152,528	28,075	40,964	74,314	62,086	132,379	882,826
平成21年度	88,731	95,596	48,701	34,398	40,277	31,878	96,419	159,451	28,795	40,614	76,861	68,408	153,777	963,906
平成22年度	80,480	92,323	47,851	77,398	42,538	27,337	87,586	153,421	25,802	38,607	77,936	66,732	150,760	968,771
平成23年度	90,273	89,949	44,796	75,384	38,855	30,809	86,330	137,946	25,825	35,316	74,479	64,188	134,866	929,016

2. 主要観光施設

表2-1 月別観光客推移

(単位:人, %)

月	区分	平成23年	平成22年	対前年比
1月		232,812	270,933	85.9
2月		220,445	242,913	90.8
3月		348,125	385,345	90.3
4月		351,084	318,213	110.3
5月		472,062	549,469	85.9
6月		201,104	279,379	72.0
7月		366,918	341,346	107.5
8月		800,194	783,690	102.1
9月		338,766	345,974	97.9
10月		361,426	377,177	95.8
11月		320,786	324,832	98.8
12月		274,001	239,393	114.5
計		4,287,723	4,458,664	96.2
施設名	城島高原パーク・アフリカサファリ・地獄めぐり・ハーモニーランド・近鉄別府ロープウェイ・竹細工伝統産業会館・別府リンゴ園・美術館・スギノイパレス・高崎山・うみたまご・関の江海水浴場・志高湖野営場・アクアビート・グローバルタワー・ビーコンプラザ・大分香りの博物館・神楽女湖菖蒲園・ラクテンチ・地獄蒸し工房鉄輪			※ 平成23年動態調査より「地獄蒸し工房鉄輪」を主要観光施設として追加しております。また、比較対象として平成22年の数値にも「地獄蒸し工房鉄輪」の入込数を計上しているため、平成22年度の動態調査の結果とは差異が生じております。



III 参 考 资 料

表Ⅲ-1 有料宿泊施設調べ

(単位:軒)

宿泊施設	施設数
ホテル	28
旅館	272
簡易宿所	4
下宿	3
合計	307

(資料：平成24年度 東部保健所報)

表Ⅲ - 2 市有温泉数調べ

(平成23年12月末現在)

区分	普通浴場	むし湯	砂湯	多目的温泉	計
市有市営温泉	12	1	1	2	16
市有区営温泉	67	0	0	0	67
市有賃貸温泉	1	0	0	0	1
計	80	1	1	2	84

多目的温泉：湯都ピア浜脇、北浜温泉（テルマス）

(資料：温泉課)

別府温泉の状況

- ・ 源泉数（孔） 2,300
- ・ 一分間の湧出量（ℓ/分） 87,248
- ・ 泉質（揭示用泉質11種類中10種類）

単純温泉・二酸化炭素泉・炭酸水素塩泉・塩化物泉
 硫酸塩泉・含鉄泉・含アルミニウム泉・含銅-鉄泉
 硫黄泉・酸性泉

(資料：平成24年度 東部保健所報)

表Ⅲ-4 平成23年 別府市のイベント開催状況

実施日	イベント名	場 所	内 容	参加者・観客数
3月13日	志高湖開き	志 高 湖	志高湖の安全を祈願した神事を行う。ボート・ペダルボートを無料開放する。	1,870人
4月1日 ～3日 (自粛)	別府八湯 温泉まつり	駅前通りほか	温泉に感謝するまつりとして、みこしの祭典や湯かけ神輿、扇山火まつりなどのイベントや多数の露店のほか市営温泉の無料開放等がある。	東日本大震災 のため自粛
4月10日	べっぷ鶴見岳 一気登山大会	SPAビーチ から鶴見岳	SPAビーチから鶴見山頂までの約12kmを踏破する全国で唯一の山行。	2,983人
5月8日	由 布 岳 山 開 き 祭	由 布 岳	夏山シーズンの幕開けを告げる催しで、登山客の安全祈願祭を合野越で行い、登頂を楽しむ。	約4,000人
5月6日 ～5月29 日	別府八湯 温泉泊覧会 (オンパク)	別 府 八 湯	別府八湯を会場に、「温泉」「食」「ウォーキング」「健康・癒し・美」をテーマにしたの体験型プログラムイベント。	約24,000人
6月25日	神楽女湖花 しょうぶ観賞会	神 楽 女 湖	奥別府の神楽女湖畔に植栽している約80種類1万5000株の花しょうぶを観賞し、野点や演奏会も開かれる。観賞期間は例年6月中旬～7月上旬。	期間中の観賞客 32,867人
7月10日	由布川峡谷 ま っ つ り	由 布 川 峡 谷	延長12kmにわたる由布川峡谷の探勝客の安全を祈願し、九州百景の1つである峡谷内の探勝を楽しむ。別府市と由布市合同で、お楽しみ抽選会等のイベントも行われる。	約1,500人
7月18日	関の江海水 浴 場 開 き	関 の 江 海 水 浴 場	関の江海水浴場開きを行い、利用者の安全を祈願する。	期間中の来場者 3680人
7月29日 ～31日	別 府 夏 の 宵 ま つ り	SPAビーチ、 別府駅前通り	別府の夏の風物詩である納涼花火大会は、県内最大数の大玉100連発を始め、見応え十分。観光客と住民が一緒になって踊る納涼音頭大会も盛大に開催される。	期間中の人出 約90,000人
8月6日	亀川夏まつり	亀 川 漁 港	200年の伝統を持つ口説きと太鼓に合わせて踊る地踊りが披露され、花火大会も行われる。	約30,000人

実施日	イベント名	場 所	内 容	参加者・観客数
8月20日	志 高 湖 夏 宵まつり	志 高 湖	志高湖の伝説を湖面で表現し、湖畔には松明が立ち並ぶ。松明行列のあと、火の踊りが披露される。	約800人
8月26日 ～28日	浜脇薬師祭	浜 脇 地 区	浜脇温泉に安置されている薬師如来の祭り。薬師堂にて法要し、各商店街等に風流見立て細工が飾られ、その他花魁道中等が行われる。	期間中の人出 約15,000人
9月21日 ～23日	鉄輪湯あみ祭	鉄 輪 温 泉	鉄輪温泉を開いた一遍上人に感謝する祭り。上人の木像を湯浴(ゆあ)みさせ、稚児行列や奉納踊り、子供相撲等が行われる。	期間中の人出 約1,200人
10月23日	BEPPUダンス フェスタ2011	別 府 公 園	別府の秋の一大イベント。踊りと交流をテーマに別府観光の活性化と地域を越えた交流を目的とする国際色あふれるダンスフェスティバル。	約26,000人
10月16日	別府湯けむり 健康マラソン・ ウォーク大会	奥 別 府 (志高湖・神 楽女湖周辺)	体力づくりとふれあいを目的に、思いのままに奥別府の大自然を満喫しながら、ランニングやウォーキングを楽しんでもらう。	1,930人
12月23日 ～24日	べっぷクリスマス H A N A B I ファンタジア	ス パ ビ ー チ	クリスマスソングにあわせて花火を打ち上げる九州創作花火の競演会やクリスマスソングを1,000人の子供たちと歌う会など音楽と花火をシンクロさせた空間が幻想的なクリスマスの夜を演出する。	期間中の人出 約200,000人

別府市民憲章(昭和43年1月制定)

わたしたちは、海と山にかこまれた美しい自然と、昼夜の別なくこんこんと湧きいづる温泉のまちに住む市民であることを誇りとし、魅力あふれる観光のまちづくりを目指しています。

わたしたちの市民憲章は次のとおりです。

1. 美しい町をつくりましょう。
2. 温泉を大切にしましょう。
3. お客様をあたたかく迎えましょう。

別府の市花と市木

市花

オオムラサキ(ツツジ科)

常緑低木。市内の街路や公園に多く植栽され、4月下旬から5月中旬の開花時期には赤紫色の大きな花を咲かせる。

市木

キンモクセイ(モクセイ科)庭園緑化木

秋には黄金色の小花を咲かせ、芳香がある。別府の土壤に適しており、庭園などの緑化用として選定された。

クスノキ(クスノキ科)公共緑化木

樹形雄大で風格があり、樹齢も長い。別府の土壤に適しており、公園などの緑化用として選定された。

別府市の変遷

- | | |
|---------|------------------------|
| 大正13年4月 | 市制施行。 |
| 昭和10年9月 | 石垣村・朝日村・亀川町等を別府市に合併する。 |
| 昭和25年7月 | 別府国際観光温泉文化都市建設法制定。 |
| 昭和60年4月 | 市庁舎が現在地に移転。 |